



平成26年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年7月25日

上場会社名 株式会社篠崎屋

上場取引所 東

コード番号 2926 URL <http://www.shinozakiya.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樽見 茂

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理グループ長兼経営企画部長 兼IR室長 (氏名) 矢立 実

TEL 048-970-4949

四半期報告書提出予定日 平成26年8月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第3四半期の業績(平成25年10月1日～平成26年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第3四半期	3,836	7.7	211	50.2	208	48.2	173	54.2
25年9月期第3四半期	3,562	△3.8	140	8.6	140	6.5	112	5.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第3四半期	12.04	—
25年9月期第3四半期	7.79	—

当社は、平成26年4月1日付で普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式の数を100株とする単元株制度を採用しております。そのため前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年9月期第3四半期	1,832	1,314	71.7	93.00
25年9月期	1,709	1,224	71.6	84.84

(参考) 自己資本 26年9月期第3四半期 1,314百万円 25年9月期 1,224百万円

当社は、平成26年4月1日付で普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式の数を100株とする単元株制度を採用しております。そのため前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	0.00	—	250.00	250.00
26年9月期	—	0.00	—		
26年9月期(予想)				3.50	3.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注)1. 業績予想の策定に伴い、その内容等を勘案し配当予想を決定いたしました。

(注)2. 当社は、平成26年4月1日付で普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式の数を100株とする単元株制度を採用しております。なお、平成25年9月期については、当該株式分割前の実績を記載しております。

3. 平成26年9月期の業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,816	4.9	186	37.9	183	36.1	139	33.6	9.72

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想につきましては、天候等の外部変動要因による業績への影響が大きく、予測が困難なため予想の開示は行っておりませんが、現時点における入手可能な情報や予測に基づき、予想値を策定いたしましたので、公表することといたしました。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年9月期3Q	14,436,600 株	25年9月期	14,436,600 株
② 期末自己株式数	26年9月期3Q	300,000 株	25年9月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年9月期3Q	14,396,464 株	25年9月期3Q	14,436,600 株

当社は、平成26年4月1日付で普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式の数を100株とする単元株制度を採用しております。そのため前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数(自己株式を含む)、期中平均株式数(四半期累計)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績見通し等の前提となる仮定及び業績見通し等のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」を参照してください。

添付資料の目次

1 . 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2 . サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3 . 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間の売上高は3,836,329千円(前年同四半期比7.7%増)、営業利益は211,705千円(前年同四半期比50.2%増)、経常利益は208,998千円(前年同四半期比48.2%増)、四半期純利益は173,405千円(前年同四半期比54.2%増)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(小売事業)

小売事業である直営店舗においては、前事業年度より推し進めている「素材屋から惣菜屋へ」をテーマとして、鮮度感の高いカテゴリーであるパック惣菜、米飯、和菓子を強化することにより売上増加を目指しました。

そのため商品開発につきましても、高い鮮度感が求められるカテゴリーのアイテム強化を中心とした新商品を企画・開発し、顧客のニーズに対応した結果、パック惣菜、米飯、和菓子などの惣菜系の販売構成比が、豆腐、揚げ物類などの素材系の販売構成比を上回り、「大豆加工食品の専門店」へとブラッシュアップが図れたことにより顧客の来店頻度が向上し、1店舗平均の顧客数は、前年同四半期比108.1%となりました。

また、顧客単価の向上を目指し、「見やすい・分かりやすい・買いやすい」売り場づくりを全店で推し進めたことにより、1店舗平均の顧客単価は、前年同四半期比102.9%となり、結果、1店舗平均の売上高は前年同四半期比111.3%となりました。

以上の結果、小売事業の売上高は3,412,826千円(前年同四半期比10.2%増)、セグメント利益(営業利益)は288,207千円(前年同四半期比32.1%増)となりました。

(その他事業)

その他事業は、小売加盟店及び業務用得意先への卸売事業並びに通販事業であります。

その他事業の売上高は423,502千円(前年同四半期比8.8%減)、セグメント利益(営業利益)は51,188千円(前年同四半期比12.3%減)となりました。

なお、当第3四半期累計期間の出店状況は、次のとおりであります。

(単位：店)

		前事業年度末 店舗数	増加	減少	当第3四半期末 店舗数
小売事業	「三代目茂蔵」(直営店)	63	-	1	62
その他事業	「三代目茂蔵」(加盟店)	99	8	12	95
合計		162	8	13	157

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における資産の残高は、前事業年度末と比較して122,492千円増加し1,832,490千円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加175,053千円、敷金及び保証金の増加16,200千円等によるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債の残高は、前事業年度末と比較して33,081千円増加し518,336千円となりました。主な要因は、買掛金の増加53,711千円、未払金の増加22,575千円及び未払法人税等の減少19,225千円等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は、前事業年度末と比較して89,411千円増加し1,314,153千円となりました。これは四半期純利益173,405千円の計上と配当金36,091千円の支払による利益剰余金の増加137,313千円及び自己株式の取得47,902千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、天候等の外部変動要因による影響が大きく、予測が困難なため通期業績予想の開示は行っておりませんが、現時点における入手可能な情報や予測に基づき、業績予想の開示が可能と判断いたしました。

当第3四半期累計期間の直営既存店における売上高は前年同四半期比で109.8%となりましたが、足元の平成26年6月度の直営既存店の売上高につきましては前年同月比で98.5%となったため、第4四半期会計期間の直営既存店の売上高につきましては、この結果を踏まえて天候等の外部変動要因による影響は前年並みとの予測のもと、前年同四半期の実績に対し100.0%を前提に策定いたしました。

営業費用につきましては、当第3四半期累計期間の実績を前提に第4四半期会計期間分を見積もり、利益予想を策定いたしました。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	322,676	497,729
売掛金	119,470	122,223
商品	32,836	42,727
貯蔵品	1,299	1,876
その他	72,719	120,427
貸倒引当金	340	90
流動資産合計	548,662	784,894
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	164,534	149,922
構築物(純額)	15,415	13,756
機械及び装置(純額)	543	458
工具、器具及び備品(純額)	23,732	16,082
土地	633,548	599,268
その他(純額)	990	693
有形固定資産合計	838,764	780,180
無形固定資産	3,058	2,204
投資その他の資産		
敷金及び保証金	194,618	210,818
その他	125,256	54,654
貸倒引当金	361	261
投資その他の資産合計	319,513	265,211
固定資産合計	1,161,335	1,047,596
資産合計	1,709,998	1,832,490
負債の部		
流動負債		
買掛金	290,346	344,058
リース債務	19,085	-
未払金	58,779	81,354
未払費用	46,441	47,972
未払法人税等	29,718	10,492
債務保証損失引当金	26,550	22,050
その他	6,869	4,843
流動負債合計	477,790	510,771
固定負債	7,465	7,565
負債合計	485,255	518,336
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	120,340	120,340
利益剰余金	104,402	241,715
自己株式	-	47,902
株主資本合計	1,224,742	1,314,153
純資産合計	1,224,742	1,314,153
負債純資産合計	1,709,998	1,832,490

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
売上高	3,562,742	3,836,329
売上原価	2,241,919	2,445,176
売上総利益	1,320,822	1,391,152
販売費及び一般管理費	1,179,896	1,179,447
営業利益	140,926	211,705
営業外収益		
受取利息	2,131	648
受取保険金	1,371	-
その他	1,189	871
営業外収益合計	4,691	1,520
営業外費用		
租税公課	3,480	3,270
その他	1,147	956
営業外費用合計	4,628	4,227
経常利益	140,989	208,998
特別利益		
固定資産売却益	54	52
債務保証損失引当金戻入額	4,000	4,500
特別利益合計	4,054	4,552
特別損失		
固定資産売却損	363	15,051
固定資産除却損	3,176	-
店舗閉鎖損失	1,953	60
特別損失合計	5,493	15,111
税引前四半期純利益	139,550	198,439
法人税、住民税及び事業税	27,064	25,034
法人税等合計	27,064	25,034
四半期純利益	112,486	173,405

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期累計期間(自平成24年10月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期 損益計算書 計上額 (注2)
	小売事業	その他事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,098,292	464,450	3,562,742	-	3,562,742
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	3,098,292	464,450	3,562,742	-	3,562,742
セグメント利益	218,126	58,392	276,519	135,592	140,926

(注) 1. セグメント損益の調整額 135,592千円は各報告セグメントには配賦していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期累計期間(自平成25年10月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期 損益計算書 計上額 (注2)
	小売事業	その他事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,412,826	423,502	3,836,329	-	3,836,329
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	3,412,826	423,502	3,836,329	-	3,836,329
セグメント利益	288,207	51,188	339,395	127,690	211,705

(注) 1. セグメント損益の調整額 127,690千円は各報告セグメントには配賦していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

第三者割当による自己株式の処分

当社は、平成26年7月25日開催の取締役会において、経営への参画意識の向上と勤労意欲の高揚を図ることを通じた企業価値の向上を目的とするとともに、調達した資金を既存店の改装費用及び新規店舗の開店時資金に充当するため、当社の取締役及び従業員に対して第三者割当により自己株式の処分を行うことを決議いたしました。

- | | |
|---------------|-----------------|
| (1) 処分期日 | 平成26年8月13日 |
| (2) 処分株式数 | 80,000株 |
| (3) 処分価額 | 1株につき161円 |
| (4) 資金調達の額 | 12,880,000円 |
| (5) 募集又は処分方法 | 第三者割当による処分 |
| (6) 処分予定先 | 当社の取締役及び従業員 28名 |
| (7) 処分後の自己株式数 | 220,000株 |